

## 単元名 季節の言葉2

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。  
 (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。  
 (3) 言葉の響きやリズムに親しみ、夏らしいものや様子を文章に書こうとする。

## 標準的な展開例

05010116\_001

【教材名】夏の夜 (P. 80～P. 81)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「夏」に対する見方や感じ方・表現された季節感を味わう。          ★夏らしいものや様子を、文章に書き表そう。          ○夏のどんなところが好きか話し合う。</p> <p>○「枕草子」について学んだことを思い出す。          ○「枕草子」を音読したり、暗唱したりする。</p> <p>○夏に関わる言葉や俳句を味わう。</p> <p>2 夏らしいものや様子を文章に書いて、交流する。          ○「枕草子」や教科書に出てくる夏を表す言葉を参考に、自分が感じる夏らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>○書いたものを互いに読み合い、交流する。</p>	<p>・教科書の言葉や写真を手がかりに、夏らしいものを思い出させる。</p> <p>・教科書の解説から内容の大体を知り、景色や様子を想像させる。          【評】古文を音読する活動を通して、言葉の響きやリズムに親しむ「知識・技能」を評価する。</p> <p>・二つの言葉や俳句を音読させ、景色や様子を思い浮かばせる。</p> <p>・リズムを楽しむだけでなく、唱歌や俳句、短歌などを通して古人の感性にも触れることができる。とよい。</p> <p>・最初に、自分が感じる夏らしいものを書き出させてから、文章に書かせる。          【評】文章に書く活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】